

麻しん(はしか)にご注意ください

感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。

◎海外渡航前に・・・◎

渡航先の麻しんの流行状況を確認しましょう。麻しんは、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しん含有ワクチンが最も有効な予防法といえます。ワクチン接種歴がない場合は、渡航前に予防接種を受けることを検討しましょう。

海外での感染にも注意が必要です

厚生労働省HP 「麻しん」
厚生労働省検疫所-FORTH- 「国・地域別情報」



◎麻しんの流行がみられる地域からの帰国後は・・・◎

帰国後2週間程度は麻しん発症の可能性を考慮し、健康状態に注意しましょう。発熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの麻しんのような症状がある場合は、麻しんの疑いがあること(麻しんの流行がみられる地域に渡航していたこと)をわかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の要否や注意点を確認してから、その指示に従ってください。

また、医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。



定点種別	疾患名	状況	6週(2/2~2/8)		7週(2/9~2/15)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	○	1122	46.75	1232	51.33
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		31	1.29	23	0.96
	急性呼吸器感染症(ARI)		2711	112.96	2625	109.38
小児科	RSウイルス感染症		11	0.73	9	0.60
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	11	0.73	4	0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	45	3.00	55	3.67
	感染性胃腸炎	-	98	6.53	98	6.53
	水痘(みずぼうそう)	-	6	0.40	4	0.27
	手足口病	-	10	0.67	5	0.33
	伝染性紅斑(りんご病)	-	15	1.00	12	0.80
	突発性発しん		12	0.80	5	0.33
	ヘルパンギーナ	-	1	0.07	1	0.07
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	1	0.07	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	3	0.60	3	0.60
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	1	0.20

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし